



J-STAGE および Journal@rchive の概要

Journal@rchive



独立行政法人 科学技術振興機構
研究基盤情報部

平成20年11月10日(東京)/平成20年12月5日(大阪)

1. ミッション

●中期目標(独立行政法人科学技術振興機構が達成すべき業務運営に関する目標) 平成19年4月1日 文部科学省

3. 科学技術情報の流通促進

(5) 科学技術論文の発信、流通の促進

国内の学協会が発行する学術論文について電子化及び国際化を支援することにより、研究成果の国内外に向けた、効率的な発信・流通を推進する。

●中期計画(独立行政法人科学技術振興機構が中期目標を達成するための計画)

3. 科学技術情報の流通促進

(5) 科学技術論文の発信、流通の促進

i. 学術論文の電子化・国際化

イ. 機構は、わが国の学協会の電子ジャーナル出版を支援するために論文の審査、編集、流通等を統合的に行うシステム(J-STAGE)を運用し、わが国の科学技術研究論文の国際流通を促進する。

ロ. 機構は、国際情報発信力の強化と知的資産保存のため、特に重要な学協会誌について過去の紙媒体に遡って電子化して公開する。

ハ. 機構は、国際的な研究論文流通形態の動向、学協会及び利用者の要望を反映してシステムの開発・改良を実施する。

ニ. 機構は、サービスの利用を促進するため、効果的にその普及を図る。

ii. 評価と評価結果の反映・活用

イ. 機構は、研究コミュニティ、利用者などの意見を踏まえ、外部有識者・専門家の参画により、事業全般の運営と成果の波及効果の視点から、2～3年ごとに評価を実施し、その結果を事業の運営に反映させる。

iii. 成果の公表・発信

イ. 機構は、コンテンツの利用状況、利用者の満足度等及び事業の波及効果を把握し、これらの成果をわかりやすく社会に向けて情報発信する。

iv. 達成すべき成果

イ. 機構は、J-STAGE と、他の電子ジャーナル、データベースとの引用文献リンク数を毎年度増加させることを目指す。

ロ. 機構は、掲載論文の年間ダウンロード数を毎年度増加させることを目指す。

ハ. 機構は、参加学協会に対し利用満足度についてアンケート調査を実施し、J-STAGE が国際情報発信力強化に役立っているという回答を9割以上得ることを目指す。

Department for Advanced Databases
Japan Science and Technology Agency

J-STAGE

2. 事業概要

背景・ニーズ

- 我が国の学協会が発行する論文誌の電子化が遅れており、情報発信力が弱い。電子化されていない論文は見てもらえない。優秀な論文が発信力の強い海外誌へ流出。
- 我が国の学協会は厳しい財政的条件下、単独での論文誌の電子化は困難。
- 我が国の学協会の論文誌のプレゼンスを高めるため、電子的な情報発信の支援が必要。

【第3期科学技術基本計画】
「論文誌等の電子アーカイブ化支援」、「学協会の論文誌の国際競争力強化」

事業の内容

- 科学技術に関する学術情報の発信と流通の迅速化と国際化を図る
- 我が国の学協会発行の論文誌の発信力強化を図り、我が国の重要な知的資産の保存を行う

学協会誌の電子化を総合的に支援

国内外への情報発信、知的財産の保存

PubMed
crossref
ChemPort
JDream

Journal @ archive

2

Department for Advanced Databases
Japan Science and Technology Agency

J-STAGE

J-STAGEの利用形態

オプション

- 投稿者の支援
- 査読者の支援
- 学協会事務局編集委員の支援

J-STAGE登録データ

印刷会社

冊子体

3

Department for Advanced Databases
Japan Science and Technology Agency

J-STAGE

J-STAGE参加基準

- 非営利学協会等が発行する逐次刊行物であること。
- 既に科学技術刊行物(オンラインジャーナルを含む)を発行している、あるいは発行する予定があること。
- 査読・審査を経た論文を掲載している逐次刊行物であること。
- 投稿を広く受け付けていること。(機関内等に限定していないこと)

4

Department for Advanced Databases
Japan Science and Technology Agency

J-STAGE

J-STAGEの利用状況

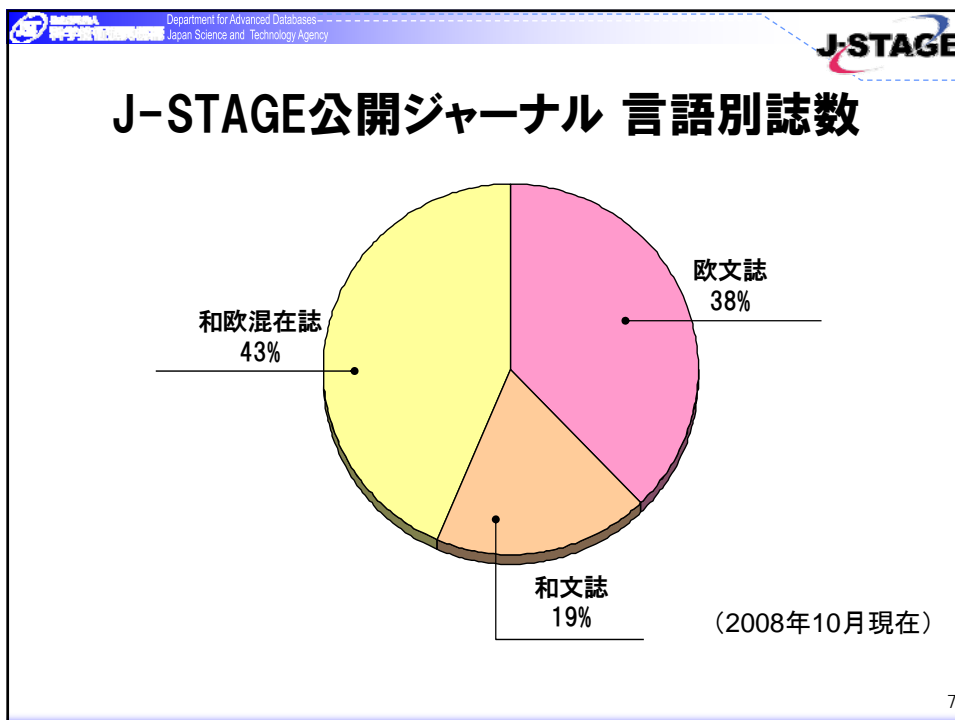
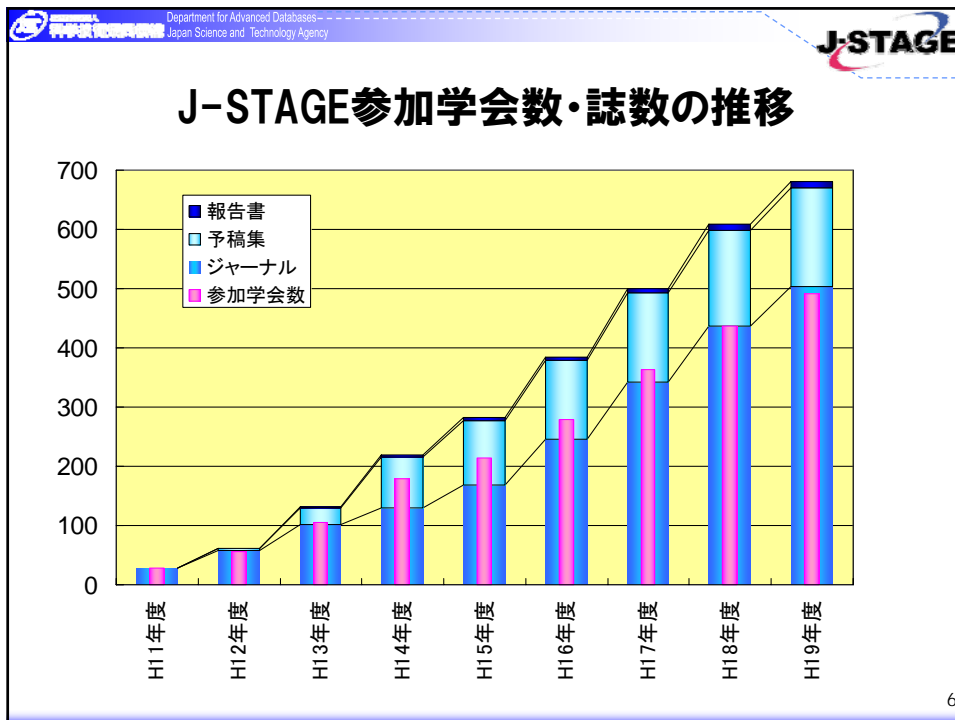
- J-STAGEを利用している学協会・ジャーナル数等

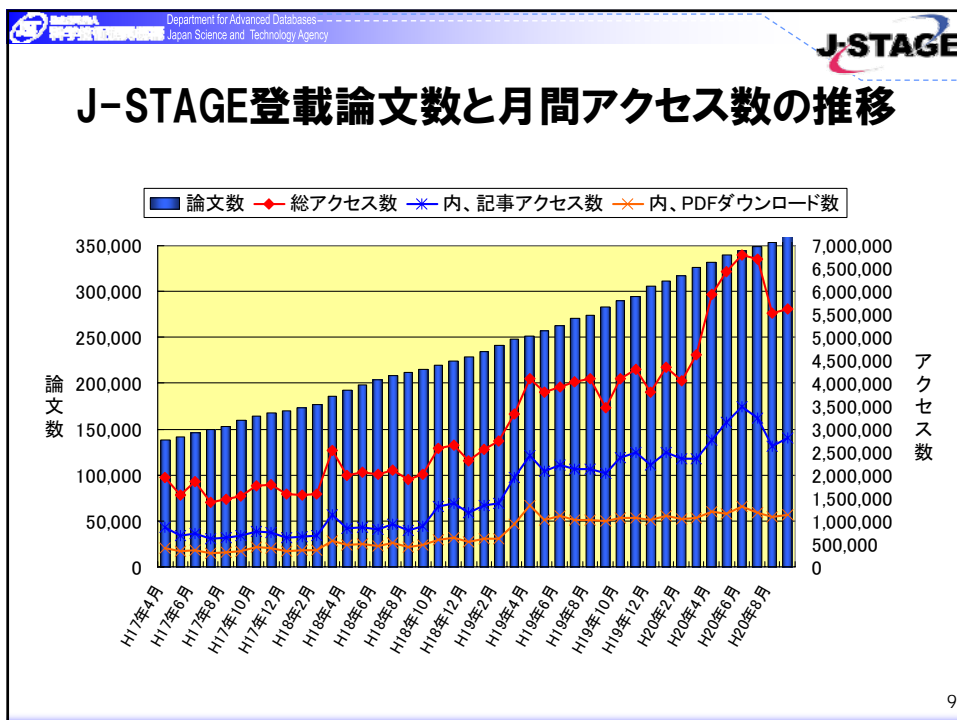
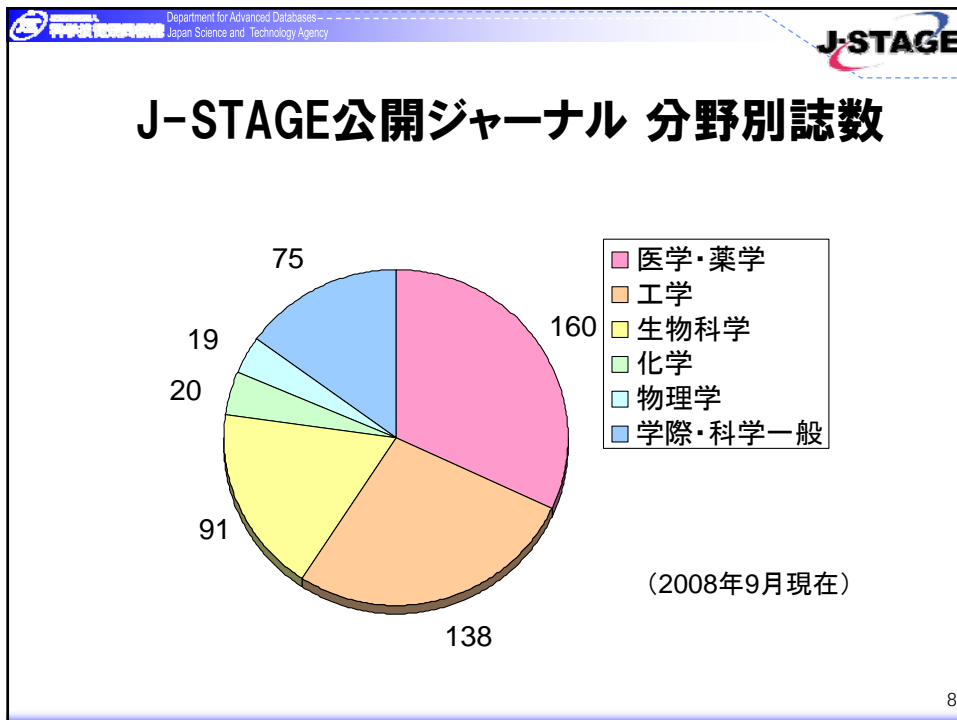
(平成20年9月現在)

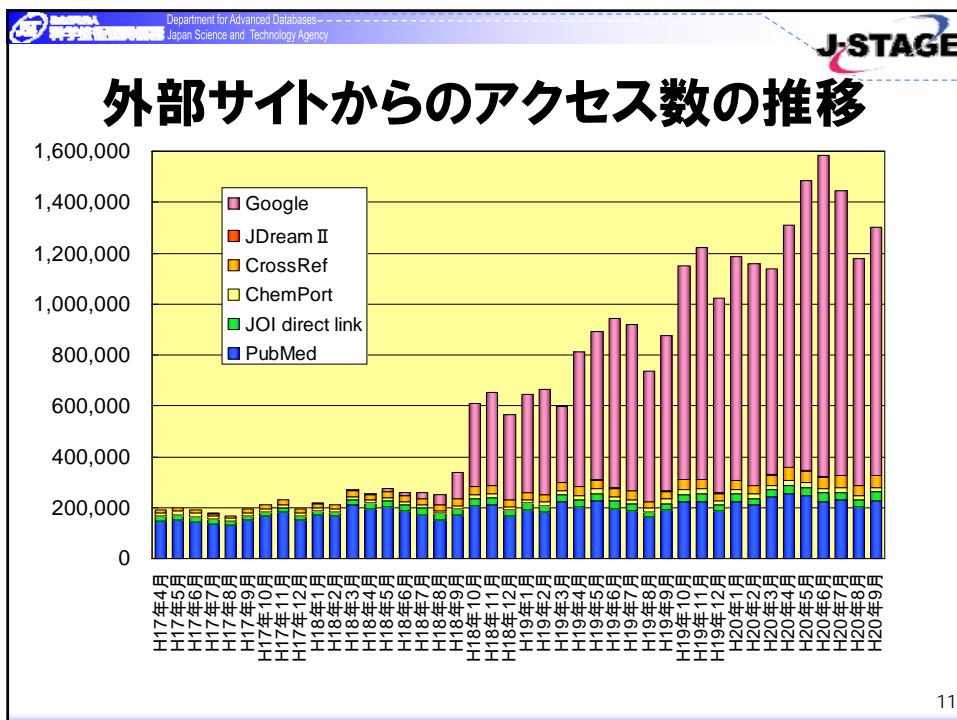
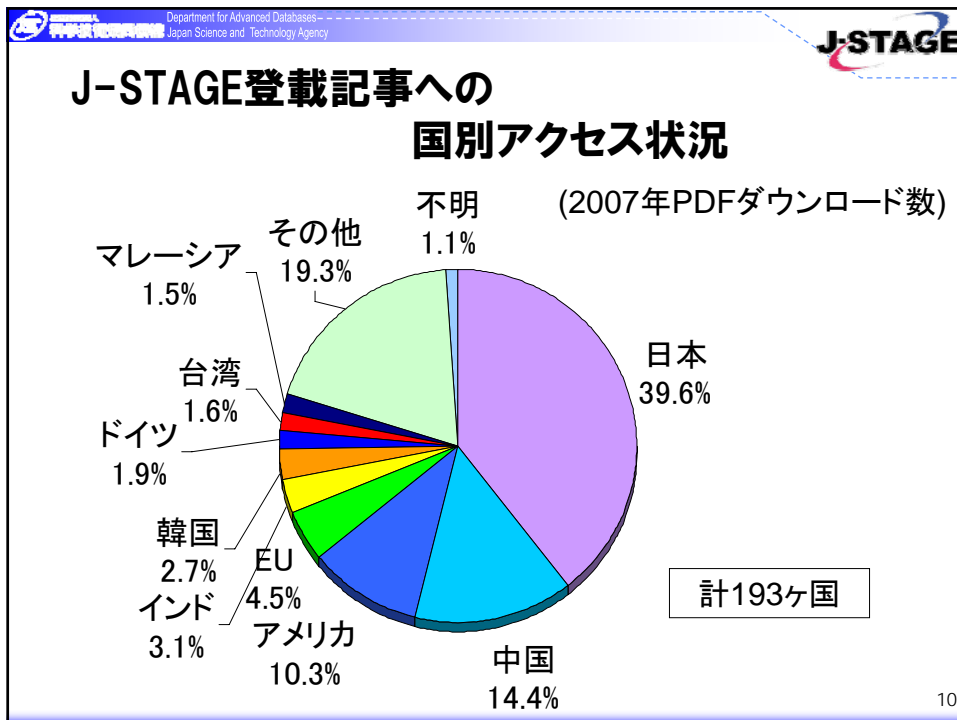
	公開誌数#	利用申請数	利用学協会数
ジャーナル	500	530	432
報告書	10	9	9
予稿集	115	169	136
合計	625	708	509 ※

※重複を除いてカウント
#誌名変更分を別資料としてカウント

5








Department for Advanced Databases - Japan Science and Technology Agency

Journal@rchive

電子アーカイブ事業

- Journal@rchive
 - 国内学協会の学術雑誌の国際発信力強化と日本の知的財産の保存を目的
 - 紙媒体の雑誌を創刊号から電子アーカイブ化
 - 対象誌：日本学術会議や関連機関の協力を得て組織した科学技術論文発信・流通促進事業推進委員会（黒川 清 委員長）で選定



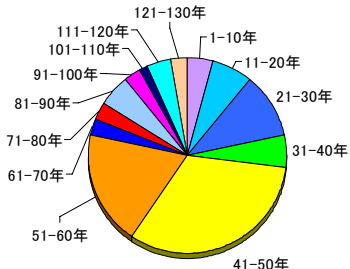
12

Department for Advanced Databases - Japan Science and Technology Agency

Journal@rchive

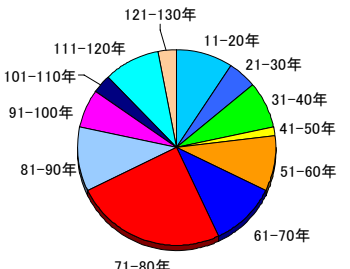
電子アーカイブ対象誌の創刊からの年数分布

平成17年度74誌



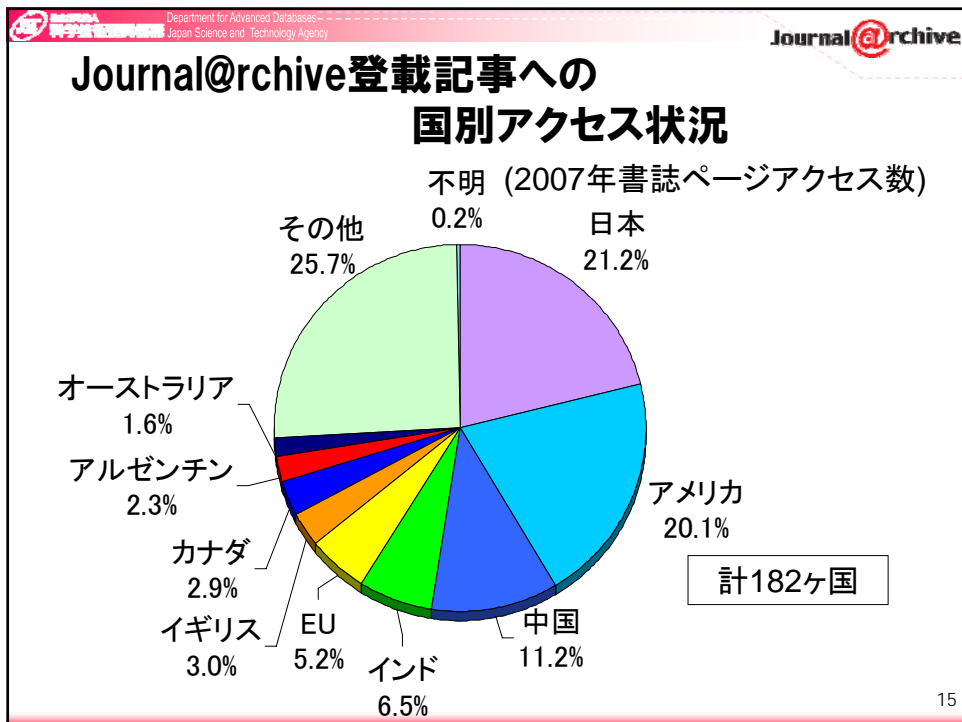
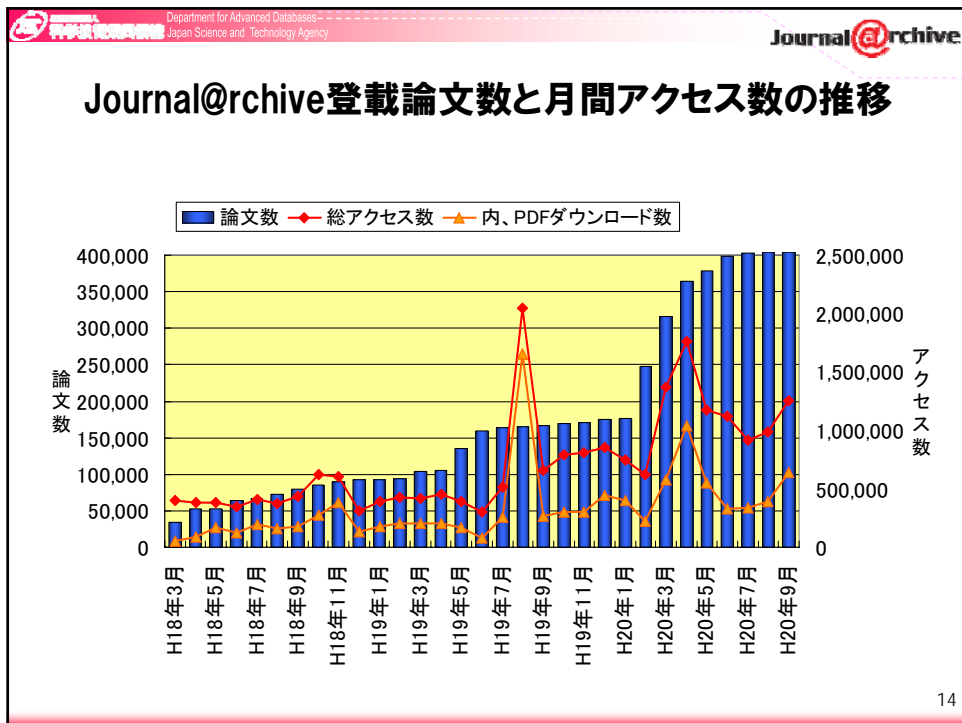
作成データ量概数延べ
3,500年
39万論文
290万ページ

平成18年度65誌



作成データ量概数延べ
4,300年
29万論文
340万ページ

13



お問い合わせ先

- 独立行政法人科学技術振興機構
研究基盤情報部 電子ジャーナル課
TEL:03-5214-8837
FAX:03-5214-8470
E-MAIL:contact@jstage.jst.go.jp